

オプトアウト

「糖尿病患者の夜間頻尿に関する実態調査」について

当センターでは、下記の通りの臨床研究(学術研究)を実施しています。この研究では、日常診療の一環としてアンケート調査を行い、また診療記録と検査結果に基づいて行われます。厚生労働省・文部科学省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守し、倫理委員会の承認のもとで実施されます。

研究背景

夜、眠りについてから排尿のために1回以上起きなければならない状態を夜間頻尿といいます。膀胱や前立腺などの泌尿器系の病気以外に、糖尿病などの生活習慣病が原因になることがあります。夜間頻尿は睡眠不足を招き生活の質(QOL)を低下させると同時に、転倒や骨折のリスクを高めるといわれています。

研究目的

夜間頻尿の実態を把握すると共に、基礎疾患・治療内容による違いを明らかにすることで、QOLを考慮したよりよい診療を目指すことです。

研究対象

2022年の3月1日から2022年5月31日までの間に日本赤十字社和歌山医療センター 糖尿病・内分泌内科を外来受診される患者さんが対象です。

研究方法

上記の患者さんに対して夜間頻尿に関するアンケートに回答いただき、アンケートの結果を臨床データ(年齢、性別、身長、体重、治療中の疾患と重症度、投薬内容、血液検査・尿検査の結果など)と比較して分析します。アンケートの結果は研究に用いると共に患者さんの治療に活用されます。診療データは診療情報から後ろ向きに調査を行います。

研究期間：2022年6月1日～2027年5月31日

個人情報保護に関する配慮

診療内容には個人情報が含まれるため、個人が特定されない方法で解析を行います。対象となる患者さんの情報を識別する目的で本研究専用番号を振り分けるため、個人情報は固く守られます。研究成果を学会発表や論文投稿の形で開示することがありますが、その際は統計的に処理されたデータのみを公表いたしますので、患者さんの個人情報が流出することはありません。

研究に関するお問い合わせ

患者さんからのご希望があれば、診療情報を研究に使用しないことが可能ですので、下記連絡先まで申し出てください。診療情報の使用に同意いただけても患者さんに不利益を生じることはありません。また、アンケートに回答いただけない場合でも、同様に不利益を生じることはありません。

研究担当

日本赤十字社和歌山医療センター 糖尿病・内分泌内科

研究代表者 廣島知直

共同研究者 海道陽介、伊藤沙耶、稲葉秀文、井上元

〒640-8558 和歌山県和歌山市小松原通四丁目20 TEL 073-422-4171(代表)